

令和 8 年 2 月 3 日

所管 建設局 公園緑地部

件 名	金岡公園再整備基本計画（案）の策定について
経 過 ・ 現 状 政 策 課 題	<p>【現状・課題】</p> <p>○金岡公園は、昭和 34 年に市民の憩いとスポーツの場所として供用開始され、競技スポーツから健康運動まで幅広く活用されている。</p> <p>○供用開始から 66 年が経過し、施設の老朽化や市民ニーズの多様化、新金岡地区の活性化に向けた取組の進展等、金岡公園を取り巻く環境の変化に対応する必要がある。</p>
対 応 方 針 今 後 の 取 組 (案)	<p>【対応】</p> <p>○環境の変化に対応するため、運動公園としての更なる機能向上や金岡公園を含む周辺地域の魅力向上を目的に、金岡公園再整備基本計画を策定。</p> <p>【めざす方向性】 「緑豊かで多様な世代が楽しめるスポーツパーク」</p> <p>【基本方針】 めざす方向性を踏まえ 4 つの基本方針を設定。</p> <p><1. 市民の健康増進やスポーツの拠点としての機能向上> プールを含む複合施設の整備等、既存施設の改修を行い、スポーツ活動の拠点として利用環境の充実を図る。</p> <p><2. 多様な世代が集い、交流できる空間の形成> レストラン・カフェ等の収益施設の導入や、プールエリアの再整備により生じるスペースを活用した広場の整備等、市民の交流の場となる空間を形成する。</p> <p><3. 都市の魅力向上に貢献する潤いある緑化空間の創出> 公園内の桜並木の更新やシンボルツリーの育成をはじめ、公園の周辺エリアとの緑のつながりや緑の持つ役割を活かし、周辺地域における都市の魅力や住環境の向上に資する緑化空間を創出する。</p> <p><4. 災害時に備える防災機能の充実> 広域避難地として災害時に必要となる避難誘導灯の整備や広場の整備等、防災施設の充実を図り、周辺地域における地域防災力の向上につなげる。</p> <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 8 年 3 月下旬～ パブリックコメントの実施 ・ 令和 8 年 6 月 金岡公園再整備基本計画策定・公表

効果の想定	○運動公園としての更なる機能向上や金岡公園を含む周辺地域の魅力向上
関係局との政策連携	文化観光局、北区役所、教育委員会事務局

■ 基本計画策定の背景と目的

《本編第1章》

金岡公園は、昭和34年に市民の憩いとスポーツの場所として供用開始された運動公園で堺市民オリンピック等、市民のイベントの開催地としても利用されています。

供用開始から66年が経過しており、施設の老朽化や市民ニーズの多様化への対応、新金岡地区の活性化に向けた取組の進展等、金岡公園を取り巻く環境は大きく変化しています。これらの変化に対応するため、運動公園としての更なる機能向上や金岡公園を含む周辺地域の魅力向上を目的に、金岡公園再整備基本計画を定めます。

■ 金岡公園の現状

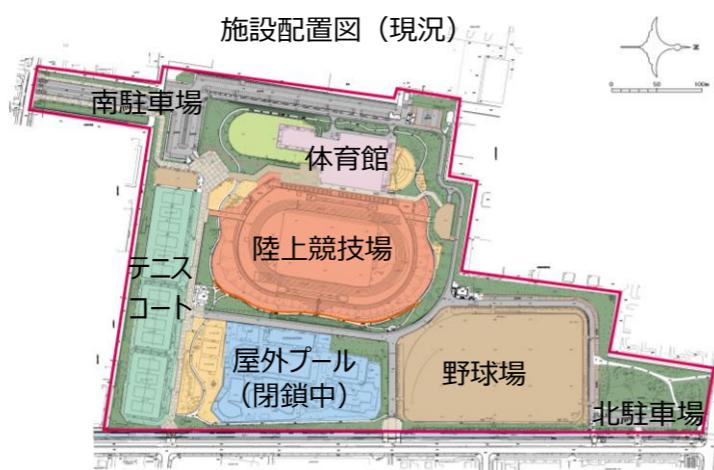
《本編第2章》

○金岡公園の概要

金岡公園の中央には、1周400メートル×8レーンのトラックやサッカー等の球技ができる天然芝フィールドを備えた陸上競技場があり、それを取り巻くように野球場、屋外プール（令和6年度から閉鎖）、テニスコート、体育館が配置されています。その他、ジョギング・ウォーキングコース、健康遊具等も整備されています。

公園概要

所在地	堺市北区長曾根町1179-18
開園日	昭和34年4月1日
公園種別	運動公園
開設面積	17.71ha
主な施設	陸上競技場、野球場、プール、テニスコート、体育館、遊具広場等



○主な施設の利用状況

▷ 主要施設について

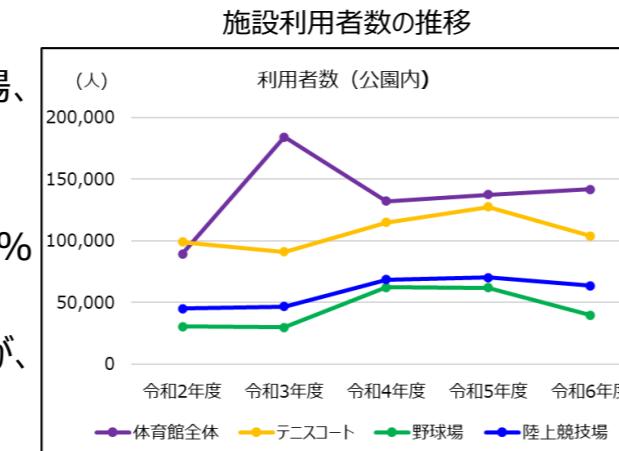
年間利用者数は体育館、テニスコート、陸上競技場、野球場の順に多くなっています。

体育館、テニスコート、陸上競技場は年間を通して約80%の稼働率であり、体育館の大体育室は約90%の稼働率となっています。

野球場の稼働率は年間では約40%となっていますが、休日は約80%となっています。

▷ 駐車場について

南駐車場（271台）は、プール利用や夏休み期間中の部活動利用により、毎年8月に利用が集中しています。駐車台数確保のため、休日やプール開園時等のハイシーズンには北駐車場（49台）を運用していますが、野球場利用者が増える休日等では不足し、園路の一部を臨時駐車場として対応している状況です。



■ めざす方向性

《本編第3章》

金岡公園は、これまで市民の健康増進やスポーツの拠点として親しまれてきましたが、近年ではライフスタイルも変化しており、更なる機能の向上が求められています。

これまで大規模スポーツ大会をはじめとする各種イベント会場として活用されてきた運動施設については、機能の維持・向上を図り、運動公園としての役割を強化する必要があります。

加えて、多様な世代が集い交流できる場の創出や、新たな賑わいを生み出す機能の導入を進めることで、従来の利用者ニーズへの対応にとどまらず、新たなニーズを創出し、市民にとっての緑の拠点としての役割を担うことも重要です。

以上のことと踏まえ、金岡公園のめざす方向性は次のとおりとします。

緑豊かで多様な世代が楽しめるスポーツパーク

■ 基本方針及び導入機能

《本編第3章》

めざす方向性を踏まえ4つの基本方針を設定します。また、基本方針を踏まえ各ゾーンに導入する機能について、以下のとおり整理し、検討します。

※各導入機能は現時点でのイメージであり、実際の整備内容は今後の検討により確定します。

1.市民の健康増進やスポーツの拠点としての機能向上

プールを含む複合施設の整備等、既存施設の改修を行い、スポーツ活動の拠点として利用環境の充実を図ります。

導入機能：アーバンスポーツ施設、複合施設、多目的広場、各照明設備等

2.多様な世代が集い、交流できる空間の形成

レストラン・カフェ等の収益施設の導入や、プールエリアの再整備により生じるスペースを活用した広場の整備等、市民の交流の場となる空間を形成します。

導入機能：休憩施設、遊具、カフェ・レストラン、大屋根広場等

3.都市の魅力向上に貢献する潤いある緑化空間の創出

公園内の桜並木の更新やシンボルツリーの育成をはじめ、公園の周辺エリアとの緑のつながりや緑の持つ役割を活かし、周辺地域における都市の魅力や住環境の向上に資する緑化空間を創出します。

導入機能：エントランス広場、桜のプロムナード、駐車場緑化等

4.災害時に備える防災機能の充実

広域避難地として災害時に必要となる避難誘導灯の整備や広場の整備等、防災施設の充実を図り、周辺地域における地域防災力の向上につなげます。

導入機能：ソーラー付き照明、大型車両進入に向けたゲート及び園路の改良等

■ ゾーニング計画と各ゾーンの役割

《本編第3章》

検討した公園計画から、各ゾーン内施設の整備の方向性を以下の3つに分類しました。

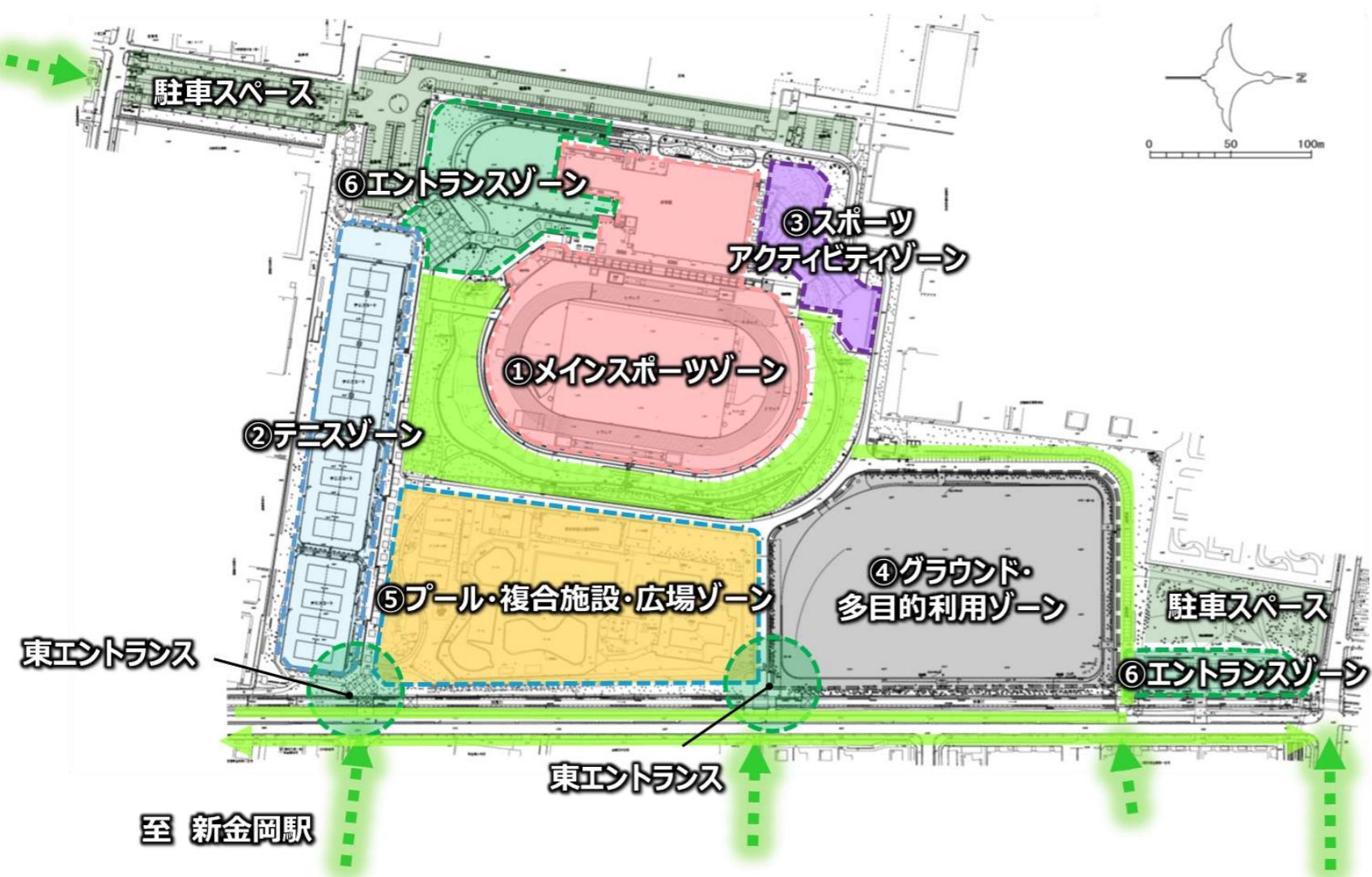
「機能維持」、「機能向上検討」、「新たな機能導入検討」

スポーツの拠点としての基盤を維持しつつ多様化するニーズに対応するため公園内を以下の6つのゾーンのとおり区分しました。

「メインスポーツゾーン」、「テニスゾーン」、「スポーツアクティビティゾーン」、「グラウンド・多目的利用ゾーン」、「プール・複合施設・広場ゾーン」、「エントランスゾーン」

また、公園東側については、公園内を見通せる広がりのある空間とし、新金岡駅利用者や新金岡地区をはじめとした来園者を迎えるよう「東エントランス」として整備を行います。

<ゾーニング>



ゾーン名	ゾーンの役割	機能の検討
① メインスポーツゾーン	競技大会の開催やトップレベルの試合観戦等、多様な利用を通じ、市民の健康増進とスポーツ参加の機会の創出を図ります。	機能維持
② テニスゾーン	利用者ニーズに応じた機能向上を図ることで、更なる施設利用を促進し、テニスを通じた市民の健康増進や交流機会の創出を図ります。	機能向上検討
③ スポーツアクティビティゾーン	日常において運動が身近に感じられる機能を導入し、金岡公園をあまり利用することのない人にとっても気軽に運動できる場を提供します。	新たな機能導入検討
④ グラウンド・多目的利用ゾーン	野球場の安全性の向上に努めることに加え、グラウンドゴルフ大会や北区区民まつり等のイベントを含めた多目的な利用を促進します。	機能向上検討
⑤ プール・複合施設・広場ゾーン	既存プールのリニューアルを通じて、市民の健康増進やレジャー機能の充実を図ります。また、新金岡駅からの主要エントランスに隣接する立地を活かし、公園の象徴となる魅力的な空間を創出し、地域の新たな賑わいを生み出します。なお、これらの施設や広場については、来園者の動線や利便性を考慮した施設配置を検討します。	新たな機能導入検討
⑥ エントランスゾーン	このゾーンでは良好な緑地空間や開放的な景観環境の整備により、来園者にとって魅力ある空間を提供します。	機能向上検討

金岡公園再整備基本計画（案）

令和 8 年（2026 年）●月

堺市

目次

第1章 基本計画の策定について

1-1 計画策定の背景と目的	1
1-2 上位関連計画との位置づけ	2

第2章 金岡公園の現状

2-1 公園概要	3
2-2 立地特性	4
2-3 類似スポーツ機能を有する周辺の大規模公園	5
2-4 主な施設の利用状況	7
2-5 市民アンケート調査結果	10
2-6 現状における課題の整理	14

第3章 再整備基本計画

3-1 再整備のめざす方向性と基本方針	15
3-2 基本方針ごとの導入機能及びゾーニング計画	16
3-3 イメージパース	20

第4章 今後の公園再整備の進め方

4-1 想定される事業手法	21
4-2 概算整備費用	22
4-3 今後のスケジュール（案）	22
参考資料 人流解析による利用状況分析	23

第1章 基本計画の策定について

1-1 計画策定の背景と目的

金岡公園は、昭和34年に市民の憩いとスポーツの場所として供用開始された運動公園です。

昭和61年（1986年）には天皇陛下御在位60年記念健康運動公園の指定を受け、競技スポーツの利用に加え、市民の健康運動にも対応できる公園として再整備を行っています。

開設以来、競技スポーツから健康運動まで幅広く活用され、陸上競技場、体育館、テニスコート等、各種スポーツ施設の運営を行っています。

また、堺市民オリンピック等、市民のイベントの開催地としても利用されています。

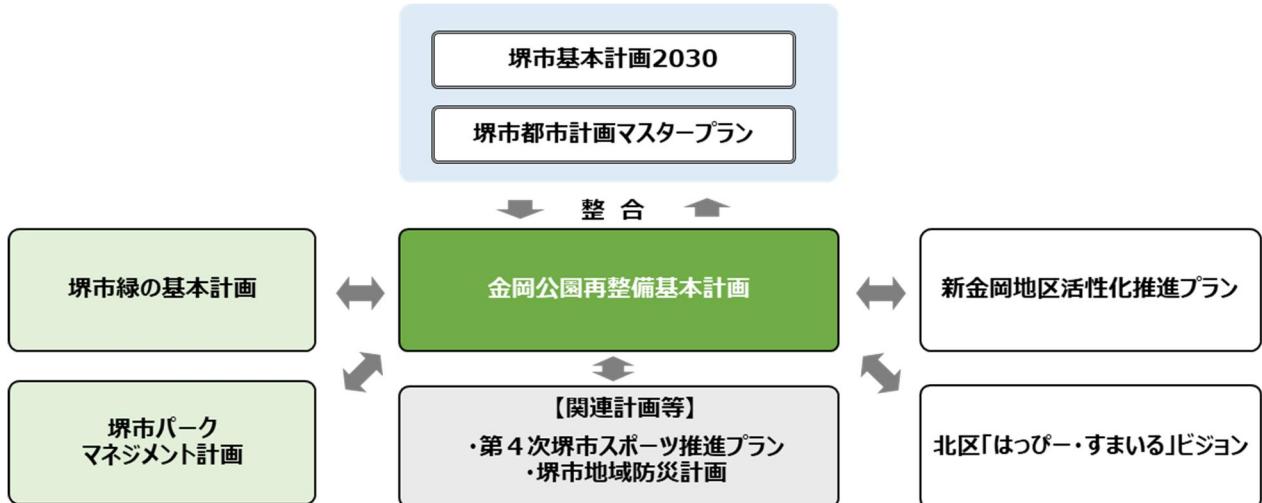
現在、再整備から39年、供用開始からは66年が経過し、一部施設の老朽化や市民ニーズの多様化への対応、公園東側の新金岡地区の活性化に向けた取組の進展等、金岡公園を取り巻く環境は大きく変化しています。これらの変化に対応するために、運動公園としての更なる機能向上や、金岡公園を含む周辺地域の魅力向上を目的に、金岡公園再整備基本計画を定めます。



写真：公園内の各施設の状況

1-2 上位関連計画との位置づけ

本計画を、「堺市基本計画 2030」、「堺市都市計画マスターplan」を上位計画とした緑の部門計画として位置付けられた堺市緑の基本計画、堺市パークマネジメント計画、北区の新金岡地区にかかる計画や関連計画として第4次堺市スポーツ推進プラン等を踏まえた計画として位置付けます。



金岡公園の再整備に関する上位・関連計画の方針等（抜粋）

上位・関連計画	基本理念・基本方針等
堺市基本計画 2030	<ul style="list-style-type: none"> ○重点戦略「人生 100 年時代の健康・福祉～Well-being～」 施策「生涯にわたる多彩なスポーティライフの実現」
堺市都市計画 マスターplan	<ul style="list-style-type: none"> ○めざすべき都市構造＜新金岡地区＞ 「居住機能に加え、商業、子育て、医療、福祉、交流等の機能を誘導し、緑と利便性を活かした定住魅力のある拠点の形成」 ○安全・安心の方針「市街地の防災性向上・避難・防災活動がしやすい市街地の形成」 ○拠点別構想「新金岡地区（関連エリア）における居住魅力の創造」
堺市緑の基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ○緑の基本方針「活力と交流を生む緑を創ります《公園整備・管理運営》」
堺市パークマネジメント計画	<ul style="list-style-type: none"> ○基本方針「守り活かし育てる」「柔軟な利活用」「経営的な視点を持つ」
第4次堺市スポーツ推進プラン	<ul style="list-style-type: none"> ○基本理念「生涯にわたる多彩なスポーティライフの実現～スポーツでライフスタイルを健康的で豊かにしよう～」
堺市地域防災計画	<ul style="list-style-type: none"> ○災害の拡大の防止「避難場所・避難路等及び誘導体制の整備」
北区「はっぴー・すまいる」ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ○基本理念「みんなが住みたい・住み続けたい北区」 ○基本方針「安全・安心」「子育て」「魅力」「健康増進」を柱に、区民協働による地域共創の推進により、将来像「『たのしい』でつながる北区」の実現をめざす。
新金岡地区活性化推進プラン	<ul style="list-style-type: none"> ○活性化の方針「公園・緑の豊かな資源を活かした魅力的な空間を形成」

第2章 金岡公園の現状

2-1 公園概要

金岡公園の中央には、1周 400 メートル×8 レーンのトラックやサッカー等の球技ができる天然芝フィールドを備えた陸上競技場があり、それを取り巻くようにテニスコート、屋外プール（令和6年度から閉鎖）、野球場、体育館が配置されています。その他、ジョギング・ウォーキングコース、健康遊具等も整備され、市民の日常的な運動の場としても利用されています。

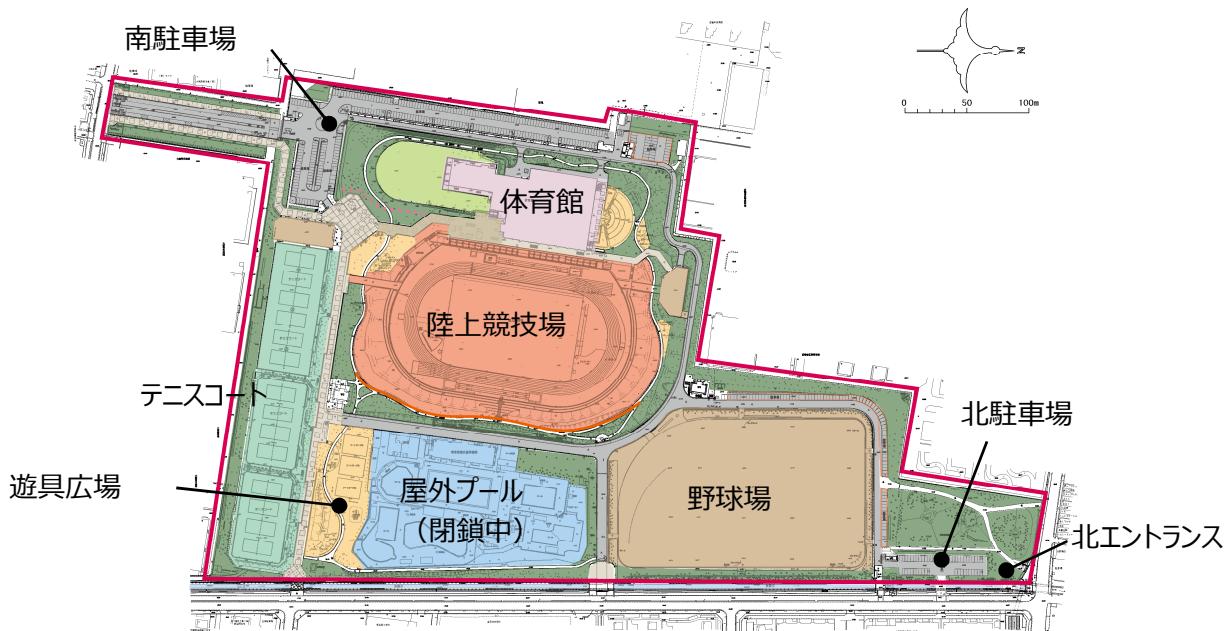
また、堺市民オリンピックや北区区民まつり等の会場としても利用されています。

公園概要

所在地	堺市北区長曾根町 1179-18		
種別	運動公園	開園日	昭和 34 (1959) 年4月1日（※国有地を借地）
面積	17.71ha	都市計画決定	昭和 34 (1959) 年3月17日 建告 345 号
主要施設	陸上競技場・野球場・プール・テニスコート・体育館・遊具広場・駐車場（南・北）		

都市計画上の位置づけ等

都市 計 画 上 の 位 置 づ け	用途地域	第一種住居地域
	高度地区	指定なし
	防火・準防火地域	準防火地域
	その他	指定なし
地域防災計画		広域避難地の機能を有する公園、指定避難所（体育館）、防火水槽、災害用ヘリポート・仮設住宅地（野球場）、マンホールトイレ



主な公園施設配置図（現況）

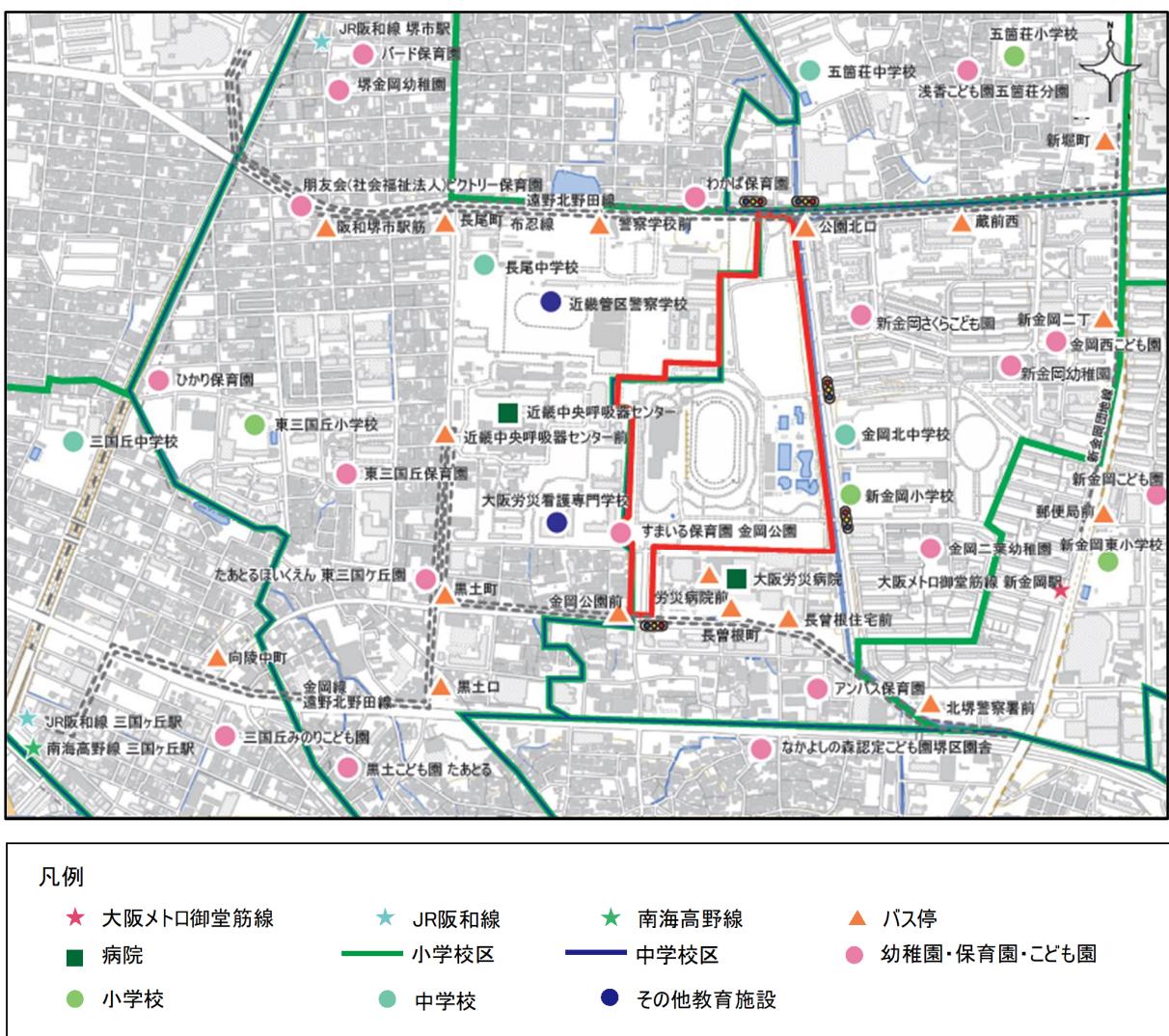
2-2 立地特性

公園東側に大阪メトロ御堂筋線新金岡駅があり、公園の北側及び南側に南海バスの停留所があります。また、公園の北側は府道堺大和高田線、南側は府道堺羽曳野線（旧）、東側は市道金岡公園東線に面しているなど、公共交通や車でのアクセスがしやすい立地状況です。

公園を取り巻く環境としては、新金岡小学校区と金岡北中学校区内に位置しているほか、複数の小学校区や中学校区にも接しています。公園東側の新金岡地区は、公的賃貸住宅・分譲マンション等、多くの公共・民間施設等の更新時期を迎えており、魅力的な都市空間の形成と活性化に向けた検討が進められています。

また、公園西側には近畿中央呼吸器センターや近畿管区警察学校、南側には大阪労災病院等の施設があります。

金岡公園の周辺環境



2-3 類似スポーツ機能を有する周辺の大規模公園

金岡公園周辺で体育館やテニスコート、プール、野球場等の類似したスポーツ機能を有する大規模公園の位置及び施設概要を以下に示します。



公園周辺のスポーツ施設位置図

【国土地理院地図をもとに作成】

類似のスポーツ機能をもつ大規模公園の施設概要（1/3）

	大浜公園	原池公園
公園種別	総合公園	運動公園
所在地	堺市堺区大浜北町 4-3-50	堺市中区八田寺町 320
開設年次	明治 12 年（1879 年）	平成 19 年（2007 年）
面積	16.30ha	16.95ha
スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館・武道館 (大アリーナ、小アリーナ、武道館、トレーニング室) ・野球場（2 面） (軟式野球、ソフトボール) ・テニスコート（4 面） ・相撲場 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館 (大アリーナ、中アリーナ、小アリーナ、トレーニング室、多目的室) ・野球場（1 面） (硬式野球、軟式野球、ソフトボール) ・スケートボードパーク ・グラウンドゴルフフィールド ・ランニングコース 1 周 800/1,500m ・健康遊具広場
レクリエーション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・プール（屋外プール） ・市民広場 ・遊具広場 ・猿飼育舎 ・ひょうたん池 ・花菖蒲園 ・蘇鉄山 ・中央広場 ・防災広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具広場 ・冒險広場 ・多目的広場 ・芝生広場 ・親子広場 ・イベント広場 ・親水広場 ・原池 ・水辺のテラス
飲食・物販	飲食（カフェ） 1 店舗	・飲食（バーベキュー施設） 1 店舗

類似のスポーツ機能をもつ大規模公園の施設概要（2/3）

	原山公園	大泉緑地
公園種別	近隣公園	広域公園
所在地	堺市南区原山台 2-5-1	堺市北区金岡町 128
開設年次	昭和 58 年（1983 年）	昭和 47 年（1972 年）
面積	7.8ha	101.5ha
スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ジム (フィットネスクラブ、スイミングプール、スタジオ、スパ) ・多目的コート (テニスコート 2 面、フットサルコート 1 面 ※兼用) ・健康遊具広場 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツハウス（管理棟） ・野球場（1 面） ・テニスコート (砂入人工芝 14 面) ・球技広場 ・スポーツ広場（2 面） ・サイクルどろんこ広場（BMX 競技専用）
レクリエーション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・プール（屋外プール） ・遊具広場 ・憩いの森 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具広場（大型遊具 3 か所） ・芝生広場 ・ふれあいの庭（庭園） ・かきつばた園 ・桜広場 ・花と緑の相談所
飲食・物販	・飲食（カフェ）1 店舗	・飲食（カフェ、バーベキュー施設）3 店舗

類似のスポーツ機能をもつ大規模公園の施設概要（3/3）

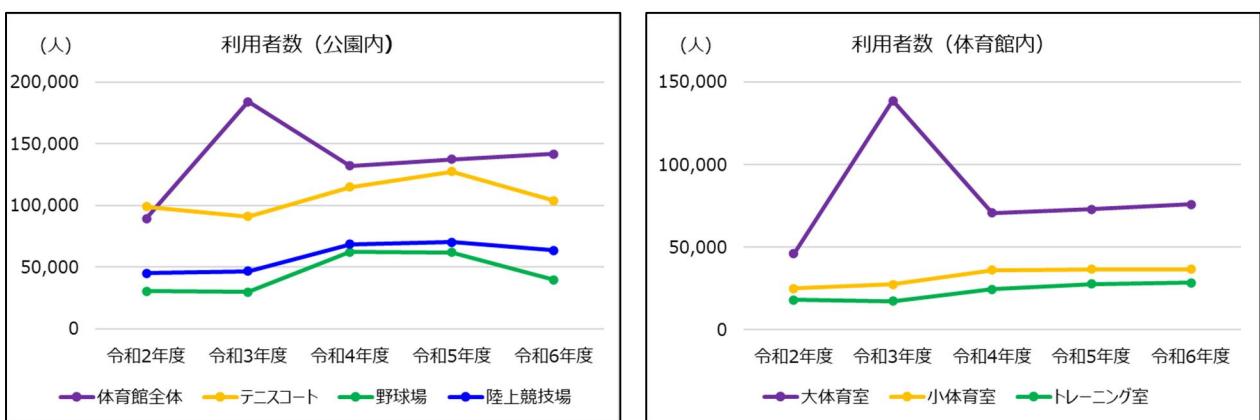
	浜寺公園
公園種別	広域公園
所在地	堺市西区浜寺公園町地内
開設年次	明治 6 年（1873 年）
面積	63.3ha
スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・野球場（2 面）（軟式野球） ・テニスコート 20 面 ・球技広場（2 面）、ソフトボール場 ・アーチェリー練習場 ・ランニングバイク練習場
レクリエーション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・プール（屋外プール） ・ビーチスポーツコート ・遊具広場 ・ジョギング・ウォーキングコース ・交通遊園 ・ドッグラン
飲食・物販	・飲食（カフェ、バーベキュー施設）3 店舗

2-4 主な施設の利用状況

(1) 公園施設の利用状況

年間利用者数は体育館、テニスコート、陸上競技場、野球場の順に多くなっています。

体育館、テニスコート、陸上競技場は年間を通して約 80%の稼働率であり、体育館の大体育室は約 90%の稼働率となっています。野球場の稼働率は年間では約 40%となっていますが、休日は約 80%となっています。



年度別の施設稼働率

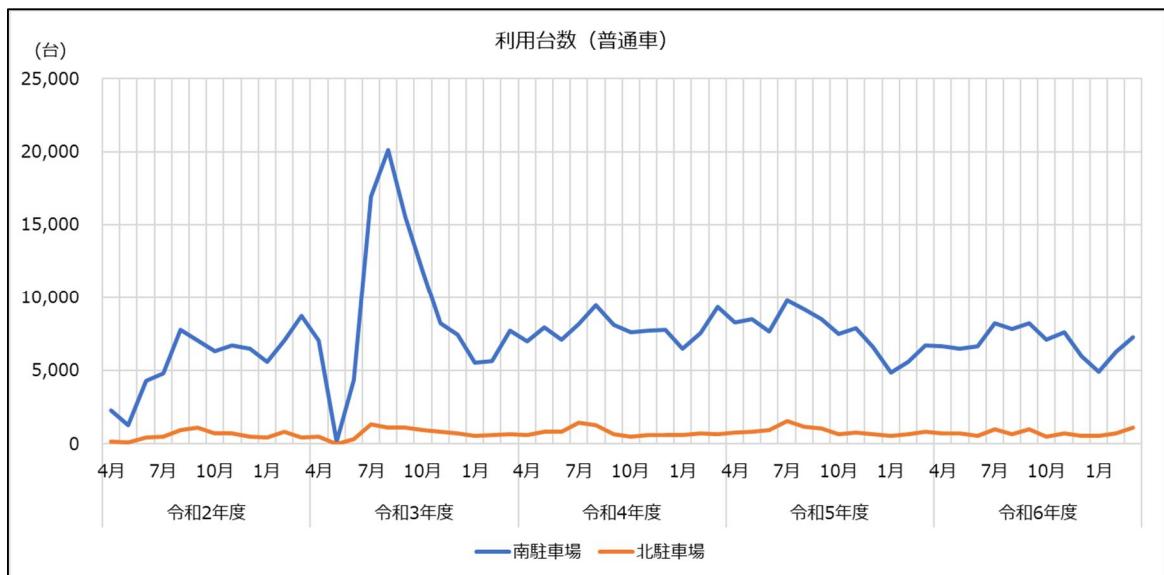
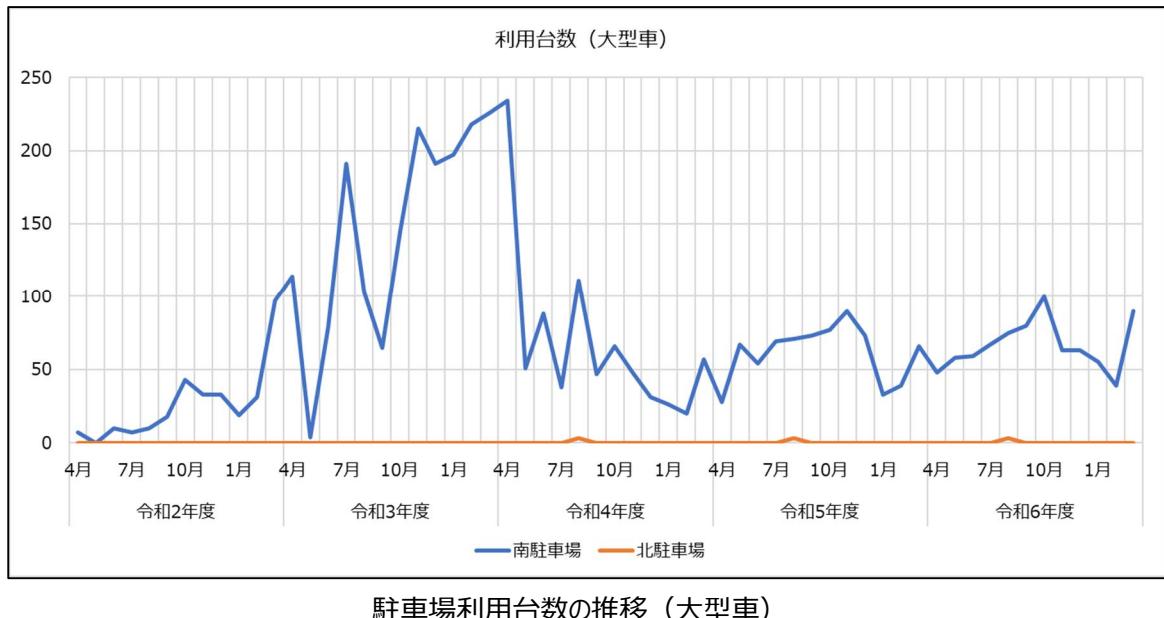
施設	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
大体育室	年間:79.6% 平日:73.9% 休日:92.1%	年間:91.1% 平日:88.6% 休日:96.6%	年間:85.5% 平日:79.6% 休日:97.3%	年間:87.0% 平日:81.6% 休日:97.8%	年間:88.7% 平日:84.2% 休日:97.4%
小体育室	年間:77.6% 平日:79.8% 休日:72.8%	年間:87.8% 平日:89.4% 休日:84.6%	年間:86.0% 平日:86.3% 休日:85.4%	年間:83.1% 平日:82.1% 休日:85.3%	年間:81.7% 平日:81.3% 休日:82.3%
テニスコート	年間:76.7% 平日:67.0% 休日:98.0%	年間:74.8% 平日:65.2% 休日:94.3%	年間:75.3% 平日:65.0% 休日:96.5%	年間:75.1% 平日:64.5% 休日:96.6%	年間:79.1% 平日:69.3% 休日:97.5%
野球場	B面 年間:30.5% 平日: 7.3% 休日:80.0%	年間:31.2% 平日: 8.1% 休日:80.6%	年間:34.4% 平日:15.4% 休日:74.5%	年間:31.9% 平日:11.7% 休日:73.6%	年間:38.6% 平日:16.8% 休日:78.1%
	C面 年間:31.8% 平日: 8.4% 休日:80.5%	年間:34.6% 平日:11.5% 休日:83.6%	年間:37.9% 平日:19.1% 休日:77.5%	年間:35.6% 平日:16.1% 休日:75.1%	年間:40.2% 平日:19.4% 休日:78.1%
	D面 年間:31.8% 平日: 9.3% 休日:78.9%	年間:33.5% 平日:10.0% 休日:83.7%	年間:32.7% 平日:13.7% 休日:73.4%	年間:31.7% 平日:12.1% 休日:72.5%	年間:33.6% 平日:12.7% 休日:71.8%
陸上競技場	年間:64.6% 平日:54.1% 休日:86.5%	年間:69.9% 平日:60.2% 休日:87.9%	年間:73.0% 平日:63.3% 休日:92.4%	年間:78.6% 平日:68.2% 休日:98.5%	年間:80.7% 平日:72.7% 休日:95.7%

※休日は土曜・日曜・祝日

(2) 駐車場の利用状況

南駐車場（271台）は、普通車・大型車（マイクロバス等）とともに、毎年8月に利用台数が多い状況です。これはプールを利用する来園者の利用や夏休み期間中の部活動利用によるものと考えられます。駐車台数確保のため、休日、プール開園時等のハイシーズンには、北駐車場（49台）を運用していますが、野球場利用者が大幅に増える休日等は園路の一部を臨時駐車場として利用する等、駐車台数が不足している状況です。

※令和3年度については、金岡公園体育館が新型コロナワイルスワクチンの大規模接種会場に利用されたことから駐車場利用が多くなっています。



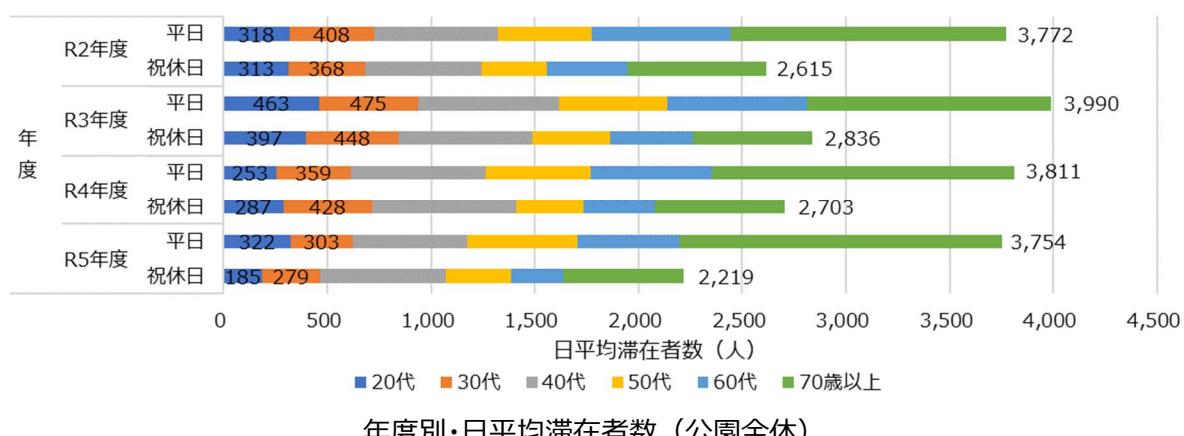
(3) 人流データから見る金岡公園での滞在状況

通信事業者が提供する人流データ（※10代以下の情報が含まれていない）を用いて、令和2年から令和5年度の4か年の滞在状況を分析しました。

30代以下の滞在者が少なく70歳以上の利用が多い傾向にあります。また、運動公園の平均滞在時間97分※と比較すると、利用者の滞在時間はかなり短い傾向です。ただし、コロナ禍を契機に都市公園などのオープンスペースの価値が再認識されていると考えられ、経年的には滞在時間が長くなる傾向にあります。

※国土交通省「令和3年度 都市公園利用実態調査」による

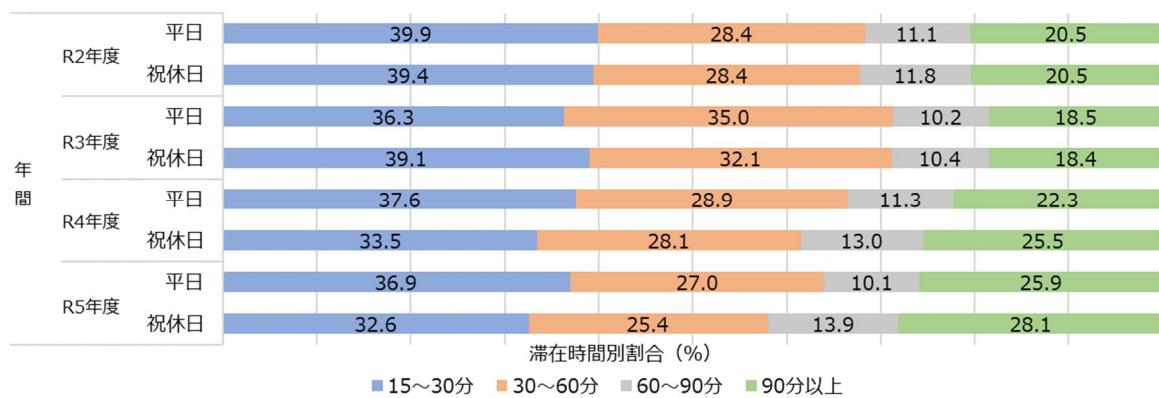
■ 日平均滞在者数（通過交通除外のため公園内に15分以上滞在したユーザーを対象とする）



（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

■ 滞在時間別割合



（データ提供：KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」）

※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計しております。

2-5 市民アンケート調査結果

金岡公園の再整備に向けて、市民の意向を把握するために市民アンケートを実施しました。アンケート調査結果の概要は以下のとおりです。

【実施期間】令和6年1月30日～令和6年2月29日

【回収方法】堺市電子申請システム、体育館アンケート用紙回収箱等

【回答件数】1,047人

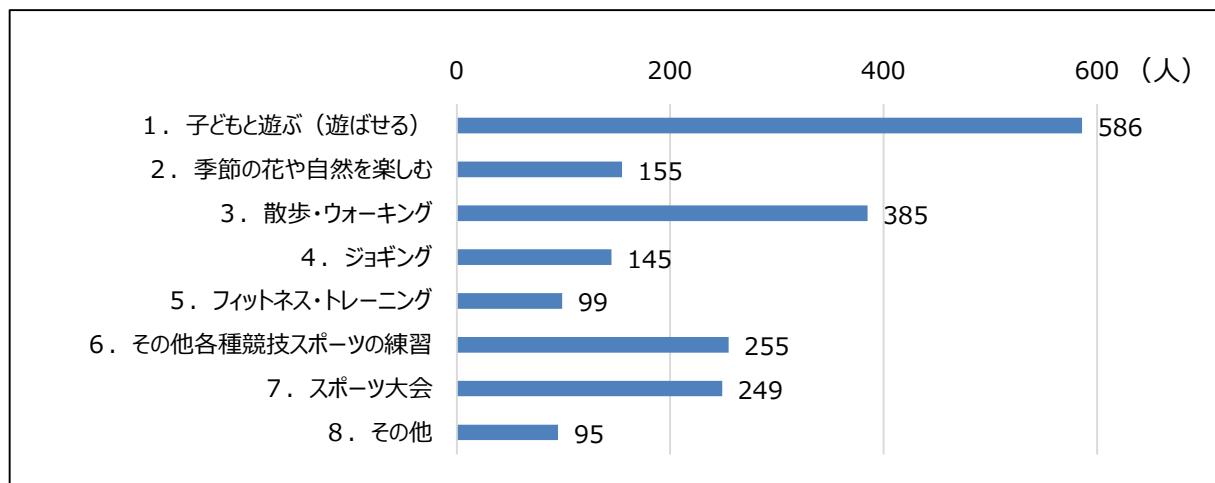
【アンケート結果の概要】

- ・金岡公園の利用目的として、「子どもと遊ぶ」、「散歩・ウォーキング」が多い結果になりました。
- ・新たに設置してほしい施設として、「カフェなど飲食店」、「屋根付きの広場」が多い結果になりました。
- ・改善してほしいところとして、「トイレを清潔にしてほしい」、「照明灯を増やしてほしい」が多い結果になりました。
- ・リニューアル後に欲しいプールとして、「アスレチックプール」が多い結果になりました。

【アンケート結果の抜粋】

■公園全体に関するもの

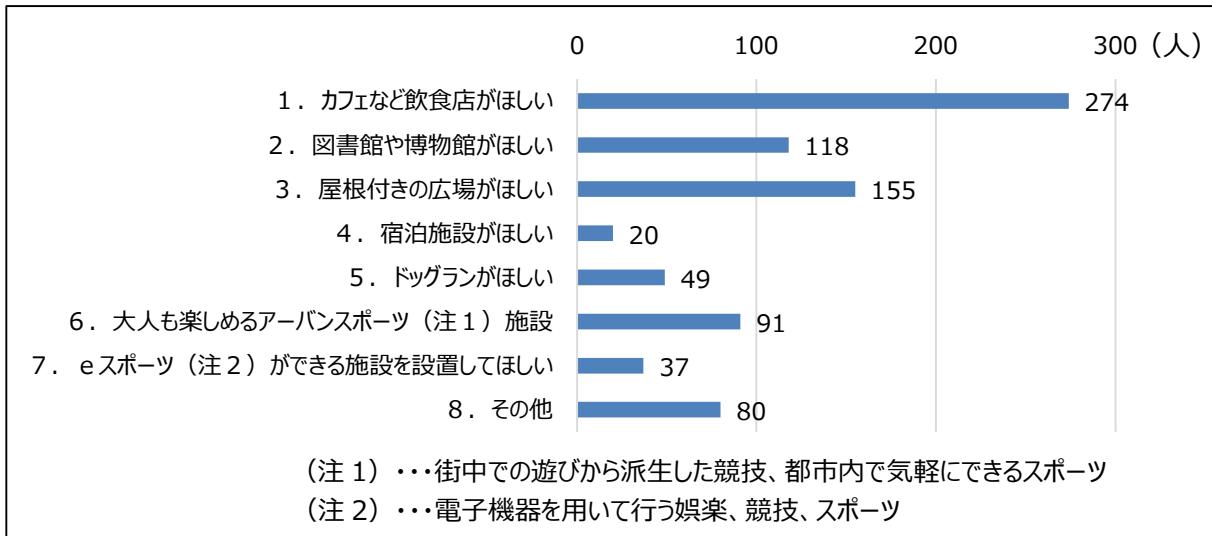
金岡公園の利用目的（N※=987）※Nは比例算出の基礎となる回答者総数



＜アンケート結果の傾向＞

- ・「子どもと遊ぶ（遊ばせる）」（586人）との回答が最も多く、次いで「散歩・ウォーキング」（385人）、「その他各種競技スポーツの練習」（255人）との回答が多い。

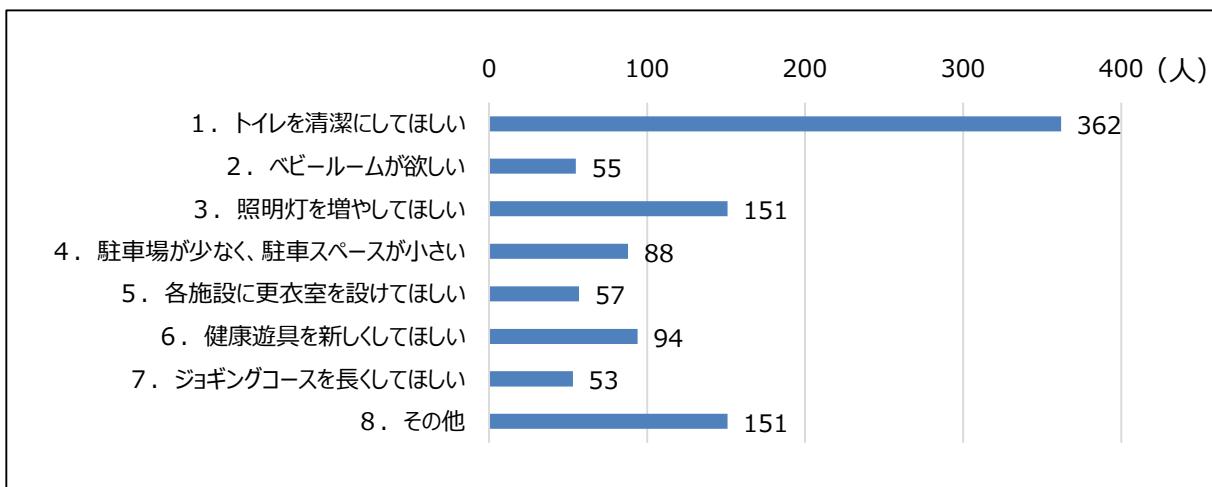
新たに設置してほしい施設 (N = 360)



<アンケート結果の傾向>

- ・「カフェなど飲食店がほしい」(274人)との回答が最も多く、次いで「屋根付きの広場がほしい」(155人)、「図書館や博物館がほしい」(118人)との回答が多い。

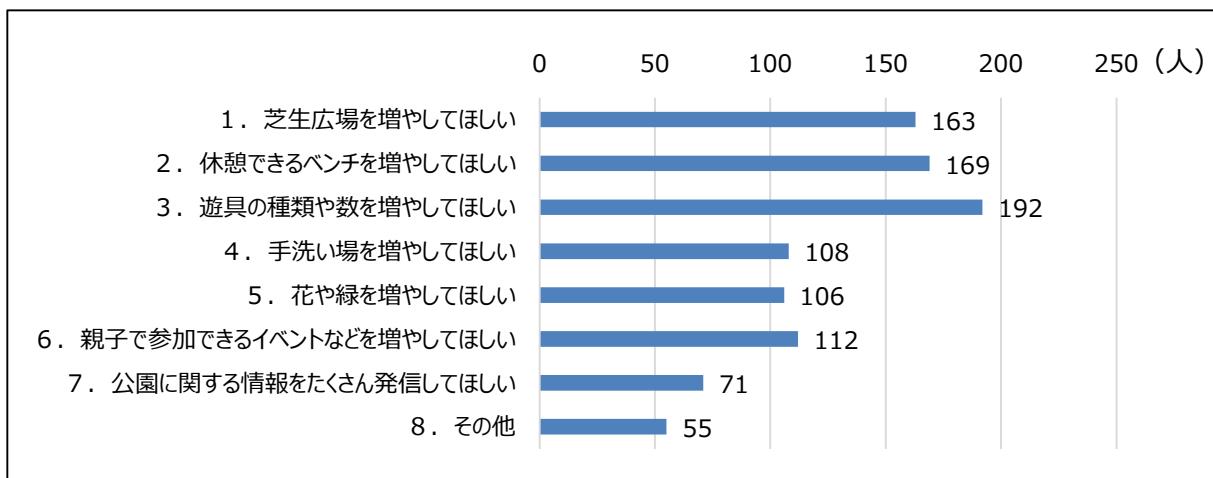
改善してほしいところ (N = 490)



<アンケート結果の傾向>

- ・「トイレを清潔にしてほしい」(362人)との回答が最も多く、次いで「照明灯を増やしてほしい」(151人)、「健康遊具を新しくしてほしい」(94人)との回答が多い。

充実してほしいところ (N = 375)

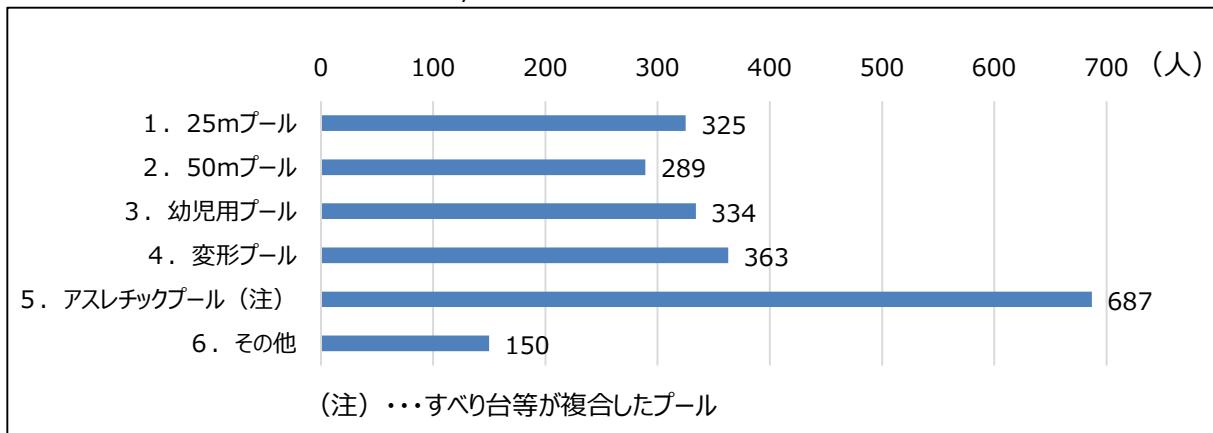


<アンケート結果の傾向>

- ・「遊具の種類や数を増やしてほしい」(192人)との回答が最も多く、次いで「休憩できるベンチを増やしてほしい」(169人)、「芝生広場を増やしてほしい」(163人)との回答が多い。

■プールに関するもの

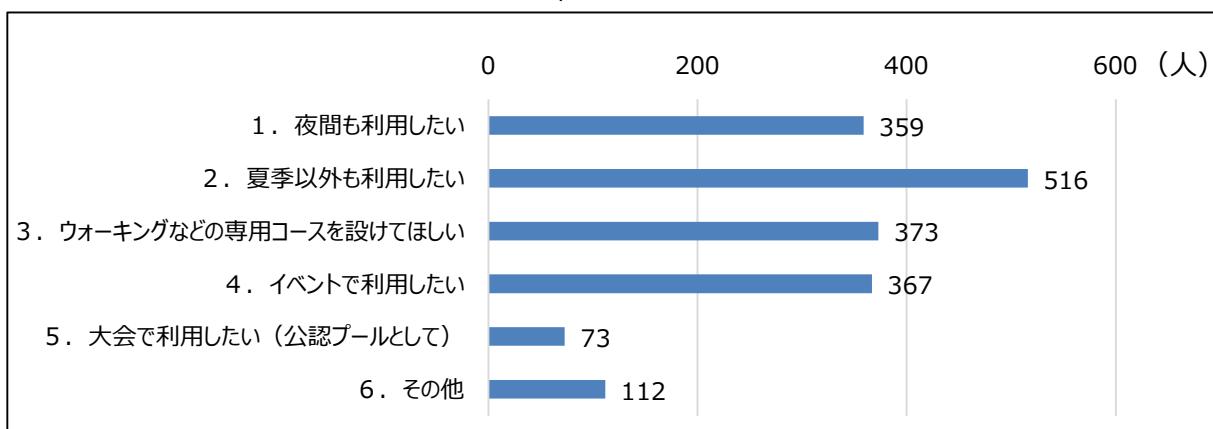
リニューアル後に欲しいプール (N = 1,047)



<アンケート結果の傾向>

- ・「アスレチックプール」(687人)との回答が最も多く、次いで「変形プール」(363人)、「幼児用プール」(334人)との回答が多い。

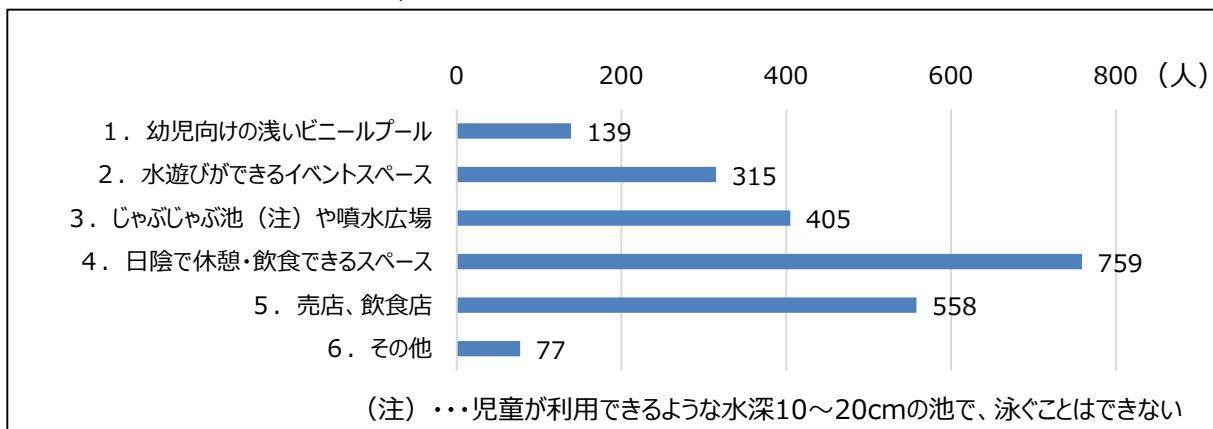
プールリニューアル後に望む利用方法 (N=1,047)



<アンケート結果の傾向>

- 「夏季以外も利用したい」(516人)との回答が最も多く、次いで「ウォーキングなどの専用コースを設けてほしい」(373人)、「イベントで利用したい」(367人)との回答が多い。

プール以外にほしい施設 (N=1,047)



<アンケート結果の傾向>

- 「日陰で休憩・飲食できるスペース」(759人)との回答が最も多く、次いで「売店、飲食店」(558人)、「じゃぶじゃぶ池や噴水広場」(405人)との回答が多い。

2-6 現状における課題の整理

本市の上位・関連計画、施設の状況、利用状況、アンケート調査結果等からみた金岡公園の現状の課題は以下のとおりです。

【課題】

■スポーツ施設

- ・現状のプールは、施設の老朽化により閉鎖している状態であり、市民アンケートで人気のあるアスレチックプール等、遊べるプールがありません。また、市民アンケートでは、プールリニューアル後に望む利用方法として、通年での利用等、現在の施設にはない機能の整備が求められています。
- ・野球場は、休日の稼働率が高い一方、平日は空きが見られる状況であり、利用環境の改善等により利用促進を図る必要があります。

■その他施設

- ・市民アンケートでの改善してほしいところとして、「トイレを清潔にしてほしい」や「照明灯を増やしてほしい」との意見が上がっており、トイレをはじめとする各施設の更新や美装化により、利用環境の改善を図る必要があります。
- ・公園内での滞在時間が比較的に短い状況にあるため、カフェや飲食店等、利用者が休憩・滞留できる空間の整備が必要です。
- ・府道堺大和高田線に面している北エントランス周辺や新金岡地区からの主要動線となる東側エントランス周辺は、植栽が繁茂しており、出入口が外部から見えにくい状態であるため、樹木更新や再配置等の検討が必要です。
- ・南駐車場は、休日やプール開園時のハイシーズンに駐車台数が不足しており、北駐車場や臨時駐車場を含めても十分な対応ができないため、駐車場の増設が必要です。

第3章 再整備基本計画

3-1 再整備のめざす方向性と基本方針

(1) 再整備のめざす方向性

金岡公園は、これまで市民の健康増進やスポーツの拠点として親しまれてきましたが、近年ではライフスタイルも変化しており、更なる機能の向上が求められています。

陸上競技場、体育館、テニスコートなど、これまで大規模スポーツ大会をはじめとする各種イベント会場として活用されてきた運動施設については、機能の維持・向上を図り、運動公園としての役割を強化する必要があります。

加えて、多様な世代が集い交流できる場の創出や、新たな賑わいを生み出す機能の導入を進めることで、従来の利用者ニーズへの対応にとどまらず、新たなニーズを創出し、市民にとっての緑の拠点としての役割を担うことも重要です。

以上のことを踏まえ、金岡公園のめざす方向性は「緑豊かで多様な世代が楽しめるスポーツパーク」とします。

めざす方向性

緑豊かで多様な世代が楽しめるスポーツパーク

(2) 基本方針

コンセプトと方向性を踏まえ、4つの基本方針を設定します。

1.市民の健康増進やスポーツの拠点としての機能向上

プールを含む複合施設の整備等、既存施設の改修を行い、スポーツ活動の拠点として利用環境の充実を図ります。

2.多様な世代が集い、交流できる空間の形成

レストラン・カフェ等の収益施設の導入や、プールエリアの再整備により生じるスペースを活用した広場の整備等、市民の交流の場となる空間を形成します。

3.都市の魅力向上に貢献する潤いある緑化空間の創出

公園内の桜並木の更新やシンボルツリーの育成をはじめ、公園の周辺エリアとの緑のつながりや緑の持つ役割を活かし、周辺地域における都市の魅力や住環境の向上に資する緑化空間を創出します。

4.災害時に備える防災機能の充実

広域避難地として災害時に必要となる避難誘導灯の整備や広場の整備等、防災施設の充実を図り、周辺地域における地域防災力の向上につなげます。

3-2 基本方針ごとの導入機能及びゾーニング計画

(1) 導入機能

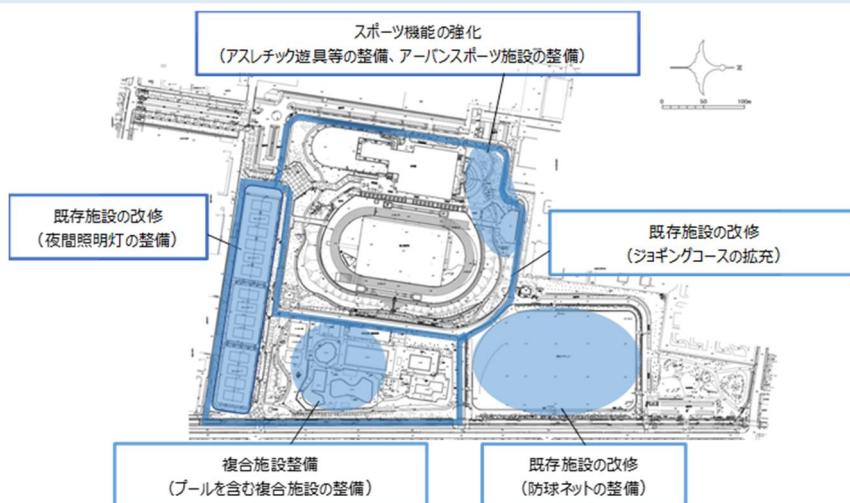
基本方針を踏まえ導入する各ゾーンの機能は以下のとおりとし、具体的なイメージを各ゾーン別に示します。

※導入機能は現時点でのイメージであり、実際の整備内容は今後の検討により確定します。

基本方針ごとの導入機能案

基本方針	基本方針に対応した機能（例）
1. 市民の健康増進やスポーツの拠点としての機能向上	アーバンスポーツ施設、複合施設、多目的広場、各照明設備等
2. 多様な世代が集い、交流できる空間の形成	休憩施設、遊具、カフェ・レストラン、大屋根広場等
3. 都市の魅力向上に貢献する潤いある緑化空間の創出	エントランス広場、桜のプロムナード、駐車場緑化等
4. 災害時に備える防災機能の充実	ソーラー付き照明、大型車両進入に向けたゲート及び園路の改良等

1.市民の健康増進やスポーツの拠点としての機能向上

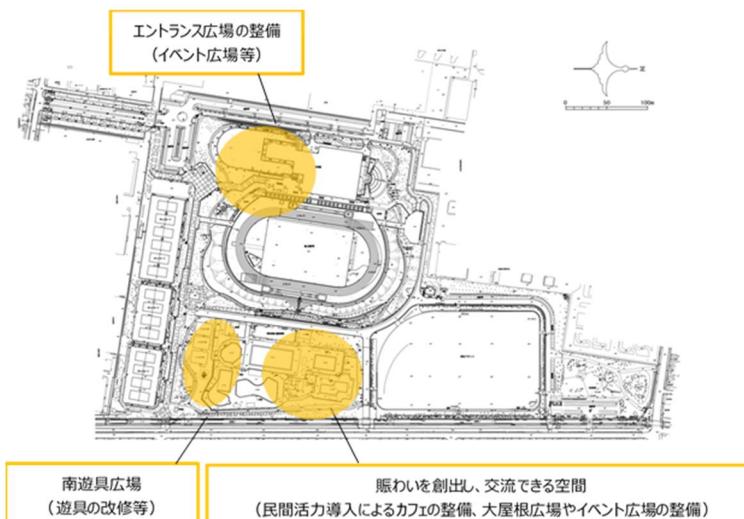


スポーツ機能の強化イメージ
(屋外ボルダリングの整備等)



複合施設の整備イメージ
(屋内プールの整備等)

2.多様な世代が集い、交流できる空間の形成

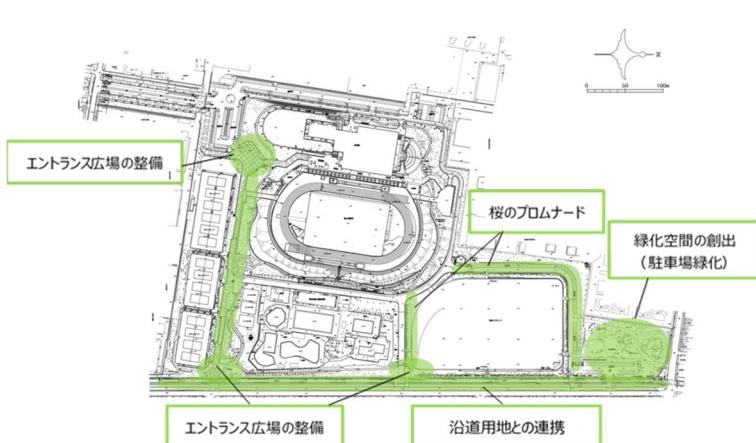


民間活力導入による
カフェ等の整備イメージ



大屋根広場の整備イメージ

3.都市の魅力向上に貢献する潤いある緑化空間の創出

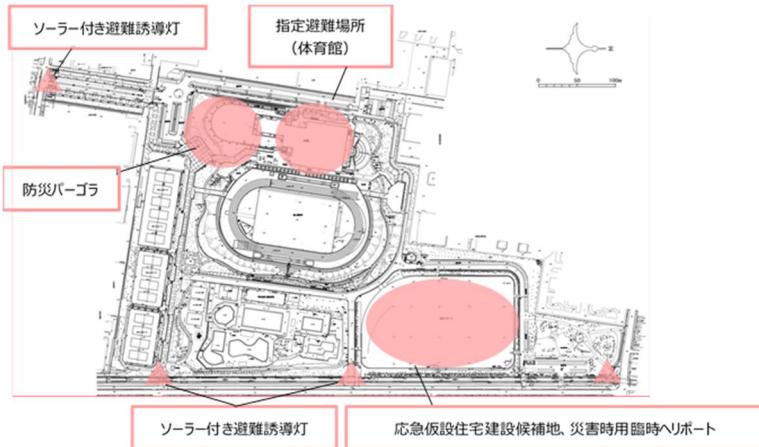


桜のプロムナードイメージ



エントランス広場の整備イメージ

4.災害時に備える防災機能の充実



防災パーゴライメージ



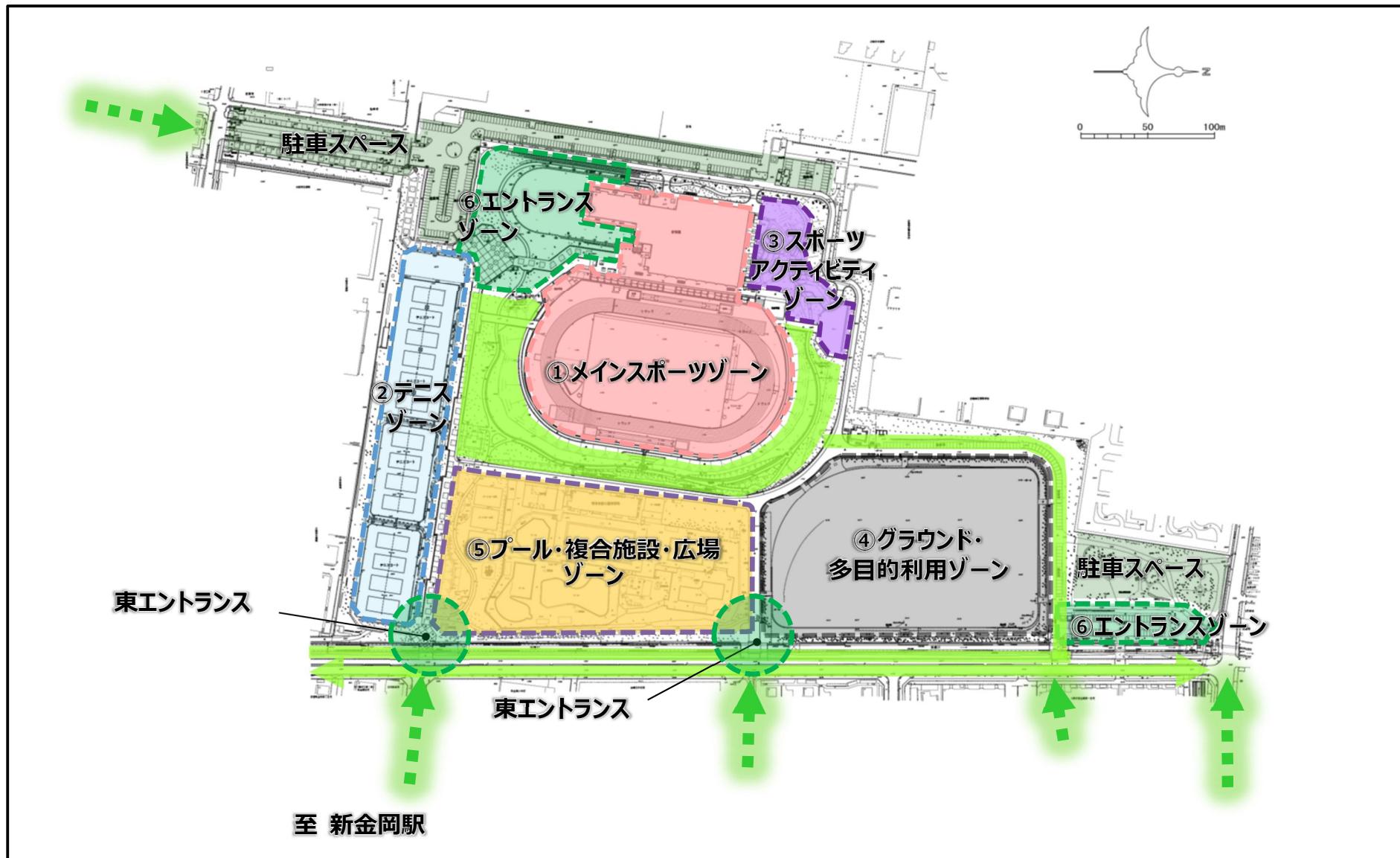
ソーラー付き避難誘導灯イメージ

(2) ゾーニング計画

検討した導入機能から、各ゾーン内の施設整備の方向性を「機能維持」、「機能向上検討」、「新たな機能導入検討」の3つに分類し、スポーツの拠点としての基盤を維持しつつ多様化するニーズに対応するため公園内を「メインスポーツゾーン」、「テニスゾーン」、「スポーツアクティビティゾーン」、「グラウンド・多目的利用ゾーン」、「プール・複合施設・広場ゾーン」、「エントランスゾーン」の6つのゾーンに区分します。

また、公園東側については、公園内を見通せる広がりのある空間とし、新金岡駅利用者や新金岡地区をはじめとした来園者を迎えるよう「東エントランス」として整備を行います。

【ゾーニング図】



【各ゾーンの役割】

①メインスポーツゾーン【機能維持】

体育館及び陸上競技場が位置する区域を、「メインスポーツゾーン」に位置づけます。体育館ではバレーボールや体操等の屋内競技、南大阪唯一の第2種公認陸上競技場では陸上大会をはじめとした屋外スポーツ大会等が実施できます。このゾーンではトップレベルの試合を観覧する等、様々な利用により、市民の健康増進やスポーツに触れる機会の創出を図ります。

②テニスゾーン【機能向上検討】

テニスコート及びその周辺区域を「テニスゾーン」に位置づけます。現在、14面あるテニスコートは、平日・休日問わず幅広い世代に利用されています。このゾーンでは利用者ニーズに応じた機能向上を図ることで、更なる施設利用を促進し、テニスを通じた市民の健康増進や交流機会の創出を図ります。

<機能向上の例>

夜間照明の増設、壁打ちコートの設置 等

③スポーツアクティビティゾーン【新たな機能導入検討】

体育館及び陸上競技場の北側スペースを「スポーツアクティビティゾーン」に位置づけます。このゾーンでは日常において運動が身近に感じられる機能を導入し、金岡公園をあまり利用することのない人にとっても気軽に運動できる場を提供します。

<機能向上の例>

アスレチック遊具の設置、アーバンスポーツ施設（3×3コート等）の設置 等

④グラウンド・多目的利用ゾーン【機能向上検討】

3面の野球場がある北側グラウンドが位置する区域を「グラウンド・多目的利用ゾーン」に位置づけます。このゾーンでは野球場の安全性の向上に努めることに加え、グラウンドゴルフ大会や北区区民まつり等のイベントを含めた多目的な利用を促進します。

<機能向上の例>

グラウンド周囲への防球ネットの設置 等

⑤プール・複合施設・広場ゾーン【新たな機能導入検討】

現在屋外プールと遊具広場が設置されている区域を「プール・複合施設・広場ゾーン」に位置づけます。このゾーンでは既存プールのリニューアルを通じて、市民の健康増進やレジャー機能の充実を図ります。

また、新金岡駅からの主要エントランスに隣接する立地を活かし、公園の象徴となる魅力的な空間を創出し、地域の新たな賑わいを生み出します。なお、これらの施設等については、来園者の動線や利便性を考慮した施設配置を検討します。

<機能向上の例>

プールを含むスポーツ・レジャー機能を有した複合施設、既存スペースを活用したカフェ等の収益施設や大屋根広場の設置 等

⑥エントランスゾーン【機能向上検討】

公園の南側及び北側の駐車場周辺区域や公園東側の出入り口を「エントランスゾーン」に位置づけます。このゾーンでは良好な緑地空間や開放的な景観環境の整備により、来園者にとって魅力ある空間を提供します。

<機能向上の例>

エントランス広場の整備、駐車場緑化 等

3-3 イメージパース



金岡公園東側からのプール・複合施設・広場ゾーンイメージ



夏場の屋外プールと芝生広場との連携イメージ

※パースは現時点でのイメージであり、実際の施設内容は今後の検討により確定します。

第4章 今後の公園再整備の進め方

4-1 想定される事業手法

公園再整備にあたっては、従来の発注方式と指定管理者制度による管理運営以外に、DB (Design-build) 、Park-PFI、PFI 等民間のノウハウを活かした様々な事業方式の活用が考えられます。今後、金岡公園の再整備に最適な事業手法を検討しながら、再整備事業を進めていく方針です。

以下に現時点で想定される事業方式例と概要を示します。

想定される事業手法の比較

想定される事業手法	従来方式+指定管理	DB+Park-PFI+指定管理	PFI (BTO 方式)
民間整備	なし	Park-PFI 制度: カフェ（公募対象施設）、 イベント広場（特定公園施設）	PFI 制度：カフェ
事業期間	・施設整備期間：4 年間 (基本設計、実施設計、整備工事) ・管理運営期間：5 年間	・施設整備期間：3 年間 (設計、整備工事) ・管理運営期間：20 年間 (10 年間×2)	・設計、整備工事、管理運営：15～20 年間
工程	・各段階の工程が完了しないと次の段階の作業に入れないので設計・整備にかかる時間を削減できない。 ・事業の各段階における工程の見直しを行いやすい。	・事業者の選定までに時間を要するが、選定後は一括発注（設計・施工）により迅速に整備工事まで進めることができる。	・SPC の設立が必要になるなど、事業者の選定までに時間を要するが、選定後は一括発注により迅速に整備工事まで進めることができる。
費用	・施設整備費は引き渡し時に一括払い。（起債を充当することにより一定の平準化は可能） ・維持管理運営費は事業期間にわたり支払い。	・施設整備費は引き渡し時に一括払い。（起債を充当することにより一定の平準化は可能） ・維持管理運営費は事業期間にわたり支払い。	・施設整備費は引き渡し時に部分払い+事業期間に割賦払い。 ・SPC の設立や管理費用等、追加費用かかる。 ・金利負担が発生するため、事業期間が長いほど、公的負担の軽減幅が小さくなる。
民間活力導入の効果	・管理運営面のみ民間活力の導入による効果を期待できる。	・建設、管理運営の両面において民間活力の効果を期待できる。 ・収益施設の収益を活用し、特定公園施設の整備ができるため、市の負担を軽減できる。 ・民間のノウハウを生かし、コスト縮減や工期短縮が期待できる。	・建設、管理運営の両面において民間活力の効果を期待できる。 ・設計、建設、運営の一括発注となるため、運営しやすい施設整備が可能となる。 ・民間のノウハウを生かし、コスト縮減や工期短縮が期待できる。

4-2 概算整備費用

・約 60 億円※

※整備費用は、整備内容、建設資材の価格や建設労務費などの状況により変動する可能性があります。

4-3 今後のスケジュール（案）

令和 7 年度 基本計画案パブリックコメント実施

令和 8 年度 基本計画策定、民間手法導入調査、実施支援着手

令和 9 年度～ 実施支援、事業者決定、設計・施工

※スケジュールは、採用する事業手法や事業の進捗状況に応じて見直す可能性があります。

参考資料 人流解析による利用状況分析

使用データの概要

近年、通信会社等から多くの位置情報データが提供され、様々な分析に活用されている。本計画では、国内の主要通信会社の一つであるKDDIが提供する位置情報データを活用し、金岡公園の利用状況について分析した。

本検討で使用したデータは、以下のとおりである。

概要：同意を得たauスマートフォンから定期的（最短2分間隔）に収集している位置情報データ。au契約者情報（性別、年代等）が紐づけされているため、様々な応用が可能。
収集期間：令和2年4月1日から令和5年3月31日まで
収集時間：24時間
収集区域：金岡公園
滞在時間：15分以上の滞在が確認された来園者

なお、こうした位置情報は、各社それぞれの方法により取得した位置情報を各社の仕様で取りまとめて販売している。

今回は、KDDIの位置情報データを基に、全人口ベースに拡大推計されて提供されているデータを使用した。拡大推計手法は、以下のとおりである。

- ①国勢調査結果とKDDIユーザーの人数を比較して、拡大倍率を算出する。拡大倍率は、居住地、性別、年代別に毎月算出されている。
- ②ある時間帯・ある地点において観測されたユーザー数にそれぞれの属性別の拡大倍率を乗じることで、拡大推計人口を算出する。
- （留意点）本データには、10代以下の情報が含まれない。

① 拡大倍率の算出

国勢調査とKDDIユーザの人数を比較して、**拡大倍率を算出**

例：「東京都港区居住 / 20代 / 男性」の拡大倍率

$$\text{国勢調査上的人口} \div \text{KDDIユーザ人口} = \text{拡大倍率}$$
$$10,000\text{人} \div 1,000\text{人} = 10\text{倍}$$

属性情報（居住地 / 性 / 年代*1）別に、毎月算出する。

*1: KDDIユーザ人口の居住地情報は、位置情報から推定した情報（市区町村別）を使用。
性・年代は、契約時の顧客情報を使用。

② メッシュ・時間帯別の人団推計

メッシュ・時間帯別の人団数に拡大倍率を掛けことで、**移動滞在人口を推計**

例：ある時間帯・ある地点における人口推計の算出

$$\text{推計人口} = \text{ある時間帯・ある地点で観測されたユーザ数} \times \text{属性別の拡大倍率}$$

$$\text{観測されたユーザ数 (属性別に集計)} \times \text{属性別の拡大倍率}$$

渋谷区居住 / 20代 / 男性 : 600人	5倍
渋谷区居住 / 20代 / 女性 : 400人	8倍
...	...
港区居住 / 20代 / 男性 : 500人	10倍
...	...

$$= 600\text{人} \times 5\text{倍} + 400\text{人} \times 8\text{倍} + \dots + 500\text{人} \times 10\text{倍} + \dots$$

$$\Rightarrow 200,000\text{人} (\text{移動滞在人口}^{\star 2})$$